



福岡医発第163号(地)

平成24年 4月12日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松田 峻一良

(公 印 省 略)

平成24年度がん看護に関わる看護師の育成研修の実施について

標記の件につきまして、福岡県保健医療介護部長より別紙のとおり通知がありましたのでお知らせいたします。

本研修は、がん医療水準の均てん化に向けた、質の高い看護が提供できる看護師の育成・強化を目的としたもので、昨年度に引き続き、本年度も別紙実施要領のとおり開催されるものです。

なお、県内の精神科・眼科単科を除く病院に対して、県医療指導課より直接通知されておりますことを申し添えます。

【連絡先・申込書類提出先】

福岡県保健医療介護部医療指導課在宅医療係

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL：092-643-3275

FAX：092-643-3277

---

小郡三井医師会より

学術・生涯教育担当理事 榎藤秀之  
会長 蒲池 壽

(公印省略)

24医指第 22号  
平成24年4月5日

社団法人福岡県医師会長 殿

福岡県保健医療介護部長

平成24年度がん看護に関わる看護師の育成研修の実施について

本県における看護行政の推進につきましては、日頃から高配賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、本県ではがん医療水準の均てん化に向けた質の高い看護が提供できる看護師の育成・強化を目的とした研修を、別紙のとおり本年度も開催しますのでお知らせします。  
なお、精神科・眼科単科を除く病院には別添写しのとおり、当課より通知しておりますので、念のため申し添えます。

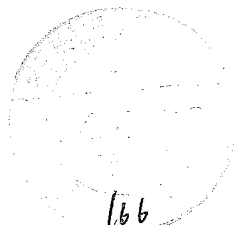
<連絡先>

医療指導課在宅医療係

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL (092) 643-3275

FAX (092) 643-3277



(公印省略)

24医指第 22号

平成24年4月5日



各 病 院 の 長 殿

福岡県保健医療介護部医療指導課長

平成24年度がん看護に関わる看護師の育成研修の実施について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本県では、がん医療水準の均てん化に向けた質の高い看護が提供できる看護師の育成・強化を目的として、本年度も標記研修を開催いたします。

つきましては、貴院看護職員において受講希望者がありましたら、別添「募集要項」を参考の上、下記必要書類を添えて、当課あてに推薦いただきますようお願いいたします。

記

1 提出書類

- 1) 所属長の推薦書(様式1)
- 2) 受講者調書(顔写真50mm×40mm1枚を貼付すること)(様式2)
- 3) がん看護に関わる看護師の育成研修調査票(様式3)
- 4) 看護師免許証の写し(A4サイズ1枚)

2 留意点

推薦にあたっては、受講対象者の基準に留意頂くとともに、研修に専念できる者を推薦すること。

3 提出期間 平成24年4月6日(金)～5月7日(月)(必着)

4 書類の提出先

福岡県医療指導課在宅医療係

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL (092) 643-3275

FAX (092) 643-3277

推 薦 書

平成 年 月 日

福岡県保健医療介護部医療指導課長 殿

施 設 名

所 在 地

施 設 長

印

平成24年度がん看護に関わる看護師の育成研修の受講者を、下記のとおり推薦します。

記

- 1 被推薦者  
氏 名  
生年月日  
所 属  
職 位

- 2 推薦理由

## 受 講 者 調 書

|                                |                                     |                         |                    |       |                                                |      |
|--------------------------------|-------------------------------------|-------------------------|--------------------|-------|------------------------------------------------|------|
| フリガナ<br>氏 名                    |                                     |                         |                    | 男 ・ 女 | 写真のり付け<br><br>(3 か月以内撮影)<br>たて よこ<br>50mm×40mm |      |
|                                |                                     |                         |                    | 印     |                                                |      |
| 生 年 月 日                        |                                     | 昭和      年      月      日 | 年      齢           | 歳     |                                                |      |
| フリガナ<br>現 住 所                  |                                     |                         |                    |       |                                                |      |
|                                |                                     | 〒                       |                    |       |                                                |      |
|                                |                                     | 電話 (      )      -      |                    |       | 年      月 撮影                                    |      |
| 勤<br>務<br>先                    | フリガナ<br>名      称                    |                         |                    |       | 設置主体                                           |      |
|                                | フリガナ<br>所 在 地                       | 〒                       |                    |       | 病 床 数                                          |      |
|                                | 電話 (      )      -      内線 (      ) |                         |                    |       | 床                                              |      |
|                                |                                     |                         |                    |       |                                                |      |
| 免 許 証 番 号<br>及 び<br>取 得 年 月 日  |                                     | 看 護 師                   | 年      月      日 取得 | (番号)  | 号                                              |      |
| 学<br><br><br><br><br><br><br>歴 | 区 分                                 | 学 校 名 (高校卒業から記入)        |                    |       | 卒業年月                                           | 修業年限 |
|                                | 一般学歴                                |                         |                    |       | 年      月                                       | 年    |
|                                |                                     |                         |                    |       | 年      月                                       | 年    |
|                                |                                     |                         |                    |       | 年      月                                       | 年    |
|                                | 専門学歴                                |                         |                    |       | 年      月                                       | 年    |
|                                |                                     |                         |                    |       | 年      月                                       | 年    |
|                                |                                     |                         |                    |       | 年      月                                       | 年    |
|                                |                                     |                         |                    |       | 年      月                                       | 年    |

(※裏面もご記入下さい)

|                                                     |                                |       |                                  |     |          |
|-----------------------------------------------------|--------------------------------|-------|----------------------------------|-----|----------|
| 職<br>歴                                              | 施 設 名                          |       | 期 間                              | 職 名 | 主な部署名    |
|                                                     |                                |       | 年 月～ 年 月                         |     |          |
|                                                     |                                |       | 年 月～ 年 月                         |     |          |
|                                                     |                                |       | 年 月～ 年 月                         |     |          |
|                                                     |                                |       | 年 月～ 年 月                         |     |          |
|                                                     |                                |       | 年 月～ 年 月                         |     |          |
|                                                     |                                |       | 年 月～ 年 月                         |     |          |
|                                                     | 看護師の実務経験年数（通算）                 |       | （            ）年 （            ）ヶ月 |     |          |
| が<br>ん<br>専<br>門<br>分<br>野<br>の<br>実<br>務<br>経<br>験 | 施 設 名                          |       | 期 間                              | 職 名 | 部署及び従事内容 |
|                                                     |                                |       | 年 月～ 年 月                         |     |          |
|                                                     |                                |       | 年 月～ 年 月                         |     |          |
|                                                     |                                |       | 年 月～ 年 月                         |     |          |
|                                                     |                                |       | 年 月～ 年 月                         |     |          |
|                                                     |                                |       | 年 月～ 年 月                         |     |          |
|                                                     | がん専門分野実務経年年数（通算）               |       | （            ）年 （            ）ヶ月 |     |          |
|                                                     | がん看護に関する<br>研究・学会などの<br>取り組み状況 | 年 月 日 | 学会名    研究内容    など                |     |          |
|                                                     |                                |       |                                  |     |          |
|                                                     |                                |       |                                  |     |          |

（記入上の注意）

- 1 該当する事項を○で囲むこと。記入もれないこと。
- 2 勤務先欄の「設置主体」には、独立行政法人〇〇機構、医療法人〇〇会等具体的に記入すること。
- 3 学歴欄で大学等に在学中の場合には「在学中」と（    ）書きし、卒業予定年月日を記入すること。
- 4 育児休暇・病気休暇・休職等の期間がある場合は、職歴欄に記入すること。
- 5 「看護師」及び「がん専門分野」の実務経験年数は、育児休暇・病気休暇・休職等を除いた期間を計上すること。
- 6 年齢及び経験年数欄の年数は平成24年4月1日時点とすること。

## がん看護に関わる看護師育成研修 調査票

|       |                    |     |    |                   |       |
|-------|--------------------|-----|----|-------------------|-------|
| フリガナ  |                    | 性別  | 年齢 | 看護師経験年数           | 年 月 日 |
| 氏名    |                    | 男・女 |    | がん専門分野経験年数        | 年 月 日 |
|       |                    |     |    | 職位                |       |
| 所属施設名 |                    |     |    | 現診療科の<br>月間がん患者件数 |       |
| 所属診療科 | 現診療科：<br>(経験診療科： ) |     |    |                   |       |

1. 本研修で学習を深めたい内容と理由について (400 文字程度)

2. 現在、関心のあるテーマをチェックしてください。(複数選択可)

- |                                                           |                                              |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 腫瘍学（がん医療総論・病態生理・手術療法・化学療法・放射線治療） |                                              |
| <input type="checkbox"/> がん看護総論                           | <input type="checkbox"/> 看護理論                |
| <input type="checkbox"/> 看護倫理（倫理的ジレンマ）                    | <input type="checkbox"/> がん患者の栄養管理           |
| <input type="checkbox"/> がん化学療法看護                         | <input type="checkbox"/> 放射線療法看護             |
| <input type="checkbox"/> がん性疼痛看護                          | <input type="checkbox"/> 家族看護                |
| <input type="checkbox"/> 緩和ケア                             | <input type="checkbox"/> インフォームドコンセント／意思決定支援 |
| <input type="checkbox"/> 症状マネジメント                         | <input type="checkbox"/> チームアプローチ            |
| <input type="checkbox"/> コミュニケーションスキル                     | <input type="checkbox"/> がん患者・家族への心理的援助      |
| <input type="checkbox"/> がん患者・家族の在宅療養支援・地域連携がん            | <input type="checkbox"/> 訪問看護                |

## 平成24年度がん看護に関わる看護師の育成研修実施要領

## 1 背景

県内死亡者の3割を占めるがん患者が安定した療養生活を送るためには、質の高い看護職の育成・強化が早急に求められる。

本県では、平成17年度から終末期医療対策推進事業、平成20年度より在宅医療推進事業に取り組んでおり、より質の高い看護師を育成するためには臨床実務研修が不可欠である。

## 2 目的

がんの医療水準の均てん化に向け、質の高いがん看護が提供できる看護師の育成・強化を推進し、これにより、がん診療機能を有する医療機関の診療レベルの向上・維持にも寄与することを目的とする。

\* がん看護における質の高い看護師とは、

『がん患者や家族、医療スタッフから頼られる看護師』を目指している。

3 実施主体 福岡県保健医療介護部医療指導課

4 募集人員 15名

5 受講申込方法 募集要項に定める

6 研修期間 40日

## 7 研修施設及び日程

(研修1)

九州がんセンター(24日間)

平成24年6月18日(月)～平成24年7月20日(金)

(研修2)

○ホスピス合同講義(4日間)

栄光病院

平成24年10月15日(月)～平成24年10月18日(木)

○ホスピス実務研修(5日間)

栄光病院(3名×3グループ)

平成24年10月22日(月)～平成24年11月9日(金)のうち5日間

那珂川病院(2名×3グループ)

平成24年10月22日(月)～平成24年11月9日(金)のうち5日間

○まとめ(1日)

栄光病院

平成24年11月16日(金)

那珂川病院

平成24年11月15日(木)

(研修3)

訪問看護研修を3施設で実施(5日間)

訪問看護ステーションはな、宗像医師会訪問看護ステーション、訪問看護ステーション「くるめ」のいずれかで、平成24年8月～9月の期間に5日間

(中間発表会及び閉講式)九州がんセンター 平成24年11月30日(金)(1日)

## 8 対象者

以下の要件をすべて満たす者で、所属長の推薦を受けた者とする。

①看護師の資格取得後5年以上の実務経験を有する者

②がん看護に従事している又は従事した経験が3年以上ある者

③今後、がん看護において中核的な役割を担う予定の者

④看護師長以外の者

⑤40日間、全日出席できる者

- 9 受講者の選定及び通知  
福岡県保健医療介護部医療指導課長が適当と認める者を受講生として決定する。  
決定後、研修会参加の可否については、各所属長あてに通知する。
- 10 修了証  
出席状況等を総合的に勘案して、修了証を交付する。
- 11 経費  
受講料は無料とするが、受講地への旅費、滞在費等は受講者側の負担とする。

## 平成24年度がん看護に関わる看護師の育成研修募集要項

### 1 目的

がんの医療水準の均てん化に向け、質の高いがん看護が提供できる看護師の育成・強化を推進し、これにより、がん診療機能を有する医療機関の診療レベルの向上・維持にも寄与することを目的とする。

### 2 実施主体 福岡県保健医療介護部医療指導課

### 3 募集人員 15名

### 4 研修期間 40日

### 5 研修日程及び場所

《研修1》日程：平成24年6月18日(月)～平成24年7月20日(金)の24日間  
場所：九州がんセンター（福岡市南区野多目3-1-1）

#### 《研修2-1》ホスピス合同講義

日程：平成24年10月15日(月)～平成24年10月18日(木)の4日間  
場所：栄光病院（糟屋郡志免町別府西3-8-15）

#### 《研修2-2》ホスピス実務研修

栄光病院または那珂川病院にて2～3名のグループに分け、下記日程のうち5日間で実習を実施。

- ① 日程：平成24年10月22日(月)～平成24年11月9日(金)のうち5日間  
場所：栄光病院（糟屋郡志免町別府西3-8-15）
- ② 日程：平成24年10月22日(月)～平成24年11月9日(金)のうち5日間  
場所：那珂川病院（福岡市南区新町2-17-17）

#### 《研修2まとめ》（1日）実習参加病院にて実施

- ① 日程：平成24年11月16日(金)  
場所：栄光病院
- ② 日程：平成24年11月15日(木)  
場所：那珂川病院

#### 《研修3》訪問看護研修（5日間）

下記施設のいずれかにて1～3名のグループに分け、下記日程のうち5日間で実習を実施。

日程：平成24年8月～9月の期間のうち5日間実施  
場所：訪問看護ステーションはな（福岡市西区下山門2-9-6）  
宗像医師会訪問看護ステーション（宗像市田熊5-5-1）  
訪問看護ステーション「くるめ」（久留米市西町105-18）

#### 《中間発表会及び閉講式》（1日）

日程：平成24年11月30日(金)  
場所：九州がんセンター

### 6 対象者

以下の要件をすべて満たす者で、所属長の推薦を受けた者とする。

- ①看護師の資格取得後5年以上の実務経験を有する者
- ②がん看護に従事している又は従事した経験が3年以上ある者
- ③今後、がん看護において中核的な役割を担う予定の者
- ④看護師長以外の者

⑤40日間、全日出席できる者

7 受講申込手続き

(1) 所属長は受講者として適当と認める者を選考のうえ、福岡県保健医療介護部医療指導課長に推薦する。

(2) 受講申込み書類

- ① 施設長の推薦書(様式1)
- ② 受講者調書(顔写真50mm×40mm1枚を貼付すること)(様式2)
- ③ がん看護に関わる看護師育成研修調査票(様式3)
- ④ 看護師免許

(3) 申込期間

平成24年4月6日(金)～5月7日(月)(必着)

(4) 申込書類提出先

福岡県保健医療介護部医療指導課在宅医療係

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

電話 (092) 643-3275 FAX (092) 643-3277

8 受講者の選定及び通知

福岡県保健医療介護部医療指導課長が適当と認める者を受講生として決定する。

決定後、講習会参加の可否については、各所属長あてに通知する。

9 修了証 出席状況等総合的に勘案し、修了証を交付する。

10 経費 受講料は無料とするが、受講地への旅費、滞在費等は受講者側の負担とする。

11 宿泊施設 宿泊施設が必要な場合は、受講者が各自で確保すること。

12 その他 留意事項

(1) 受講決定者は以下の書類を提出すること(様式は5月中旬の受講決定時に送付します)

①健康診断書 別紙1

※健康診断書は研修開始日前3ヶ月以内のもの。

※別紙1の項目の確認ができる内容ならば、別様式の写しでも結構です。

②感染症に係わる調査票 別紙2

(2) 保険の加入

受講決定者は、研修開始までに社団法人日本看護協会の「看護職賠償責任保険制度」またはそれと同等の補償のある保険に必ず加入していること。

現在、加入している保険がある場合は、勤務先以外の施設における看護行為についても補償対象となることを必ず確認すること。

(3) 病棟実習に必要な白衣・ナースシューズ(サンダル不可)等は各自で準備すること。

(ただし、ナースキャップは不要)

(4) 訪問看護研修は動きやすい服装(襟付きシャツ(ポロシャツ等)及びパンツ)で参加すること。

(5) ノートパソコンを各自持参すること。

平成 24 年度

福岡県 がん看護に関わる看護師の育成研修実施要項

I. 目的

がん医療水準の均てん化に向けて質の高いがん看護が提供できる看護師の育成・強化を推進し、これにより、がん診療機能を有する医療機関の診療レベルの向上・維持にも寄与することを目的とする。

\*がん看護における質の高い看護師とは、『がん患者や家族、医療スタッフから頼られる看護師』を目指している。今回の研修において、下記の目標を達成することがその第1歩と考える。

II. 目標

1. がん治療に伴う副作用、合併症に対する適切な看護援助が指導のもと実践できる。
2. がんの進行に伴う苦痛に対する適切なアセスメントと症状マネジメントについて理解を深め、指導のもと実践できる。
3. がん告知や治療経過で体験する患者・家族の心に及ぼす影響や精神的支援方法についての理解を深め実践できる。
4. がんとの共生を支えるためのがん患者教育や支援について考えることができる。
5. がん患者の療養場の特性を理解し、在宅療養支援に必要な相談機能、連携、協働について考えることができる。
6. がん患者及び家族に関わる倫理的ジレンマへの対処について考えることができる
7. がん医療におけるチームアプローチについて理解を深め、指導のもと実践することができる

III. 主催：福岡県保健医療課介護部

IV. 担当施設：国立病院機構九州がんセンター

V. 実施期間

平成24年6月18日（月）～ 7月20日（金）

平成24年11月30日（金）

VI. 対象者：看護師 15名

但し、以下の要件を満たし所属長の推薦を受けた者とする。

- ①看護師の資格取得後5年以上の実務経験を有する者
- ②がん看護に従事しているまたは従事した経験が3年以上ある者
- ③今後、がん看護において中核的な役割を担う予定の者
- ④看護師長以外の者
- ⑤本研修 40 日間、全日出席できる者

## VII. 研修生としての事前準備

本研修は、質の高いがん看護が提供できる看護師の育成・強化推進と、がん診療機能を有する医療機関の診療レベルの向上・維持にも寄与することを目的としています。研修の対象者は、今後がん看護において中核的な役割を担うことが期待される者となっており、主体的な研修参加と学ぶ姿勢をもっていることを希望します。そして、研修に参加するにあたり、下記に示した前提学習を行い、実務研修を実施するうえで必要な「がんおよびがん看護」に関する基礎的知識のレディネスを高めておくことをおすすめします。本研修の中での知識の提供は最小限のものであり、研修生の主体的学習を中心としたプログラムとなっておりますので、事前準備をよろしくお願い致します。

### 1. 前提学習方法

下記の参考文献を利用し、自己学習を行う。

- ① 必読文献：講義の前に必読し自己学習を行う文献（自己購入が望ましい）
- ② 推薦文献：前提学習を行う際に参考となる文献

### 2. 参考文献

| 区分 | 領域        | タイトル                                                                                                                                                |
|----|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 推薦 | がん看護全般    | 監訳小島操子、佐藤れい子：がん看護コアカリキュラム，日本がん看護学会                                                                                                                  |
| 推薦 | がん看護全般    | 大場正巳、遠藤恵美子、稲光光子編著：新しいがん看護，ブレーン出版                                                                                                                    |
| 必読 | がん化学療法看護  | 国立がん研究センター内科レジデント編：がん診療レジデントマニュアル第5版，医学書院<br>(必読範囲：1 がん診療とインフォームド・コンセント、2 がん薬物療法の基本概念、3 臨床試験、21 感染症対策、23 骨髄抑制対策、24 消化器症状対策、25 抗がん剤調整・投与の方法と漏出性皮膚障害) |
| 必読 | がん性疼痛看護   | 岡田美賀子、梅田恵、桐山靖代編著：ナースによるナースのためのがん患者のペインマネジメント新版，日本看護協会出版会                                                                                            |
| 推薦 | がん性疼痛看護   | 的場元弘：がん疼痛治療レシピ 2007，春秋社                                                                                                                             |
| 必読 | 症状マネジメント  | 岡村恵子：がん患者の症状マネジメント，学研，<br>(必読範囲：第1章)                                                                                                                |
| 推薦 | がん看護・緩和ケア | 鈴木志津枝・内布敦子：成人看護学：緩和・ターミナルケア看護論，ヌーヴェルヒロカワ                                                                                                            |
| 推薦 | がん放射線療法看護 | 菱川良夫著：放射線治療を受ける患者の看護ケア，日本看護協会<br>嶺岸秀子ほか 放射線治療を受けるがんサバイバーへの看護ケア，<br>医歯薬出版、2009                                                                       |
| 推薦 | 看護倫理      | 小島恭子編：ケアの質を高める看護倫理，医歯薬出版株式会社                                                                                                                        |
| 推薦 | 在宅支援      | 宇都宮宏子編：病棟から始める退院支援・退院調整の実践実例，日本看護協会出版会，2009<br>宇都宮宏子編：これからの退院支援・退院調整，日本看護協会出版会，2011. 4                                                              |

# 平成24年度 福岡県がん看護に関わる看護師の育成研修 九州がんセンター プログラム概要

2012/4/2

| 目標                                                           | 具体的目標                                                                                                                                                                           | 研修方法                                                                                                                                                  |                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                              |                                                                                                                                                                                 | 事前学習                                                                                                                                                  | 講義                                                                                                                     | 実習                                                                                                                                                                                       | グループワーク                                                                                                                 |
| 1. がん治療に伴う副作用、合併症に対する適切な看護援助が指導のもと実践できる。                     | 1) がん化学療法、放射線療法及び手術療法（主として再建術）に伴う副作用、合併症とそれに伴う心身の苦痛を理解する<br>2) 治療に伴う主な副作用や合併症を予防・早期発見、経過観察のためのアセスメントを行う<br>3) 治療に伴う主な副作用や合併症に対する効果的な副作用及び合併症管理を行う                               | 必読書：がん診療レジデントマニュアル第5版<br>*IC、臨床試験、薬物療法、感染症、骨髄抑制、消化器症状、血管外漏出対策<br><br>参考：がん看護コアカリキュラム<br>1) がんの病態生理<br>2) エマージェンシー<br>3) 外科的治療における看護<br>4) 放射線療法における看護 | 腫瘍学Ⅰ：がんの病態生理<br>腫瘍学Ⅱ：がん手術療法<br>：がん化学療法<br>：がん放射線療法<br><br>がん患者の栄養管理<br>がん化学療法看護①②③<br>臨床試験と看護<br>がん手術療法看護<br>がん放射線療法看護 | 1) がん化学療法、放射線療法、再建術など侵襲の大きい手術療法を受けている患者を受け持ち、指導を受けながら看護過程を展開する<br>2) 治療状況を用いるアセスメント指標やマニュアル、ガイドライン等を活用し、指導の下にアセスメント、適切な副作用・合併症対策を実施する<br>3) 病棟CFで看護過程について提示し、看護師やその他の職種と意見交換を行い、実施・評価を行う | 1) 受け持ち患者のケアと看護援助について知識と実践を統合し、EBNに基づいた症状マネジメントについて考える<br>2) がん化学療法を受ける患者の看護について、事例検討を行い、EBNに基づいたケアと適切な看護援助について理解を深める   |
| 2. がんの進行に伴う苦痛に対する適切なアセスメントと症状マネジメントについて理解を深め、指導のもと実践することができる | 1) 患者の症状やニーズに基づいて、疼痛の原因、誘因、疼痛緩和を阻害する要因などについて多角的にアセスメントし、全人的苦痛について理解する<br>2) 薬理的、非薬理的疼痛管理に関するエビデンスに基づく疼痛管理を理解する<br>3) 症状マネジメントモデルを用いて患者の症状体験を理解し、患者・家族の能力に応じた症状マネジメントができるように支援する | 必読書：①ナースによるナースのためのがん患者のペインマネジメント新版<br>②がん患者の症状マネジメント<br>参考図書：①がん疼痛治療レシビ2007（実習時持参）<br>②緩和・ターミナル緩和ケア看護論                                                | がん看護に活かす看護理論<br>症状マネジメント①②③<br>がん性疼痛看護①②<br>緩和ケア<br>リンパ浮腫のケア<br>アロマセラピー<br>スキンケア<br>口腔ケア                               | 1) がん性疼痛のある患者を受け持ち、基礎知識に基づいて疼痛を持つ患者の全人的苦痛のアセスメントを行う<br>2) 指導を受けながら、アセスメントに基づき症状緩和の根拠となる考え方や基礎知識を応用して症状マネジメントアプローチを行う<br>3) 病棟CFで疼痛緩和の過程について提示し、看護師やその他の職種と意見交換を行い、実施・評価を行う               | 1) 講義内のGWまたは受け持ち患者を通し、ケアと看護援助について知識と実践を統合し、EBNに基づいた症状マネジメントについて考える<br>2) 全人的苦痛に関する総合的なアセスメントを行い、症状マネジメントアプローチについて理解を深める |
| 3. がんの告知や治療経過で体験する患者・家族の心に及ぼす影響や精神的支援方法の理解を深め実践できる。          | 1) がん告知や治療過程で体験する患者・家族の心理的・社会的苦痛について理解する<br>2) 対象の理解を深め自らのコミュニケーション技術の向上を図る<br>3) がん患者の家族看護について理解を深める                                                                           | 参考図書：がん看護コアカリキュラム<br>1) 心理・社会的問題<br>2) ボディイメージの変化<br>3) 文化的問題<br>4) サバイバシップ<br>5) セクシュアリティ                                                            | がん看護に活かすサイコオンコロジー<br>コミュニケーション技法<br>家族看護①②                                                                             | 1) 実習Ⅰを通し患者の体験と看護の実際を把握し、自己の看護の振り返り、課題発見をし、以後の学習に臨む。<br>2) 受け持ち患者の心理的・社会的苦痛についてアセスメントを行い、患者や家族の心理的状態の理解を深め、心理的状態に応じた支援を行う。<br>3) 受け持ち患者家族の理解や家族アセスメントを行う                                 | 1) 今までの経験や受け持ち患者の心理的状態や支援について学んだことの意見交換、課題の焦点化、課題の分析、問題解決に向けての看護師の役割について学習を深める                                          |
| 4. がんとの共生を支えるための患者教育・支援について考えることができる                         | 1) 生活や人生と切り離せないがん医療の全体的な過程を理解する<br>2) 治療と生活の調整を主体的に行っていくための患者教育やセルフケア支援について考える                                                                                                  | 参考図書：がん看護コアカリキュラム<br>1) がんサバイバシップについて<br>2) ナースのための退院調整                                                                                               | がん医療総論<br>がん看護総論<br>がん患者・家族の相談支援<br>症状マネジメント他<br>乳がん看護                                                                 | 1) 患者及び家族に副作用・合併症を早期発見、対処するための観察、自己管理に関する患者教育や支援を行う<br>2) 療養の場の移行についての意思決定支援や多職種との連携、相談・情報提供についてアセスメントする                                                                                 | 1) 今までの経験や受け持ち患者の①患者教育やセルフケア支援、②療養の場の移行支援について学んだことの意見交換、課題の焦点化、課題の分析、問題解決に向けての看護師の役割について学習を深める                          |
| 5. がん患者の療養場の特性を理解し、在宅療養支援に必要な相談機能、連携、協働について考えることができる。        | 1) がん患者及び家族が療養する場の特性について説明できる。<br>2) 在宅療養支援のためのアセスメント、情報提供や意思決定支援、人的・物的資源の調整、多職種地域連携について考える。                                                                                    | 参考図書：<br>①病棟から始める退院支援・退院調整の実践事例<br>②これからの退院支援・退院調整                                                                                                    | がん患者・家族の相談支援                                                                                                           | 1) 療養の場移行についての意思決定支援や他職種との連携、相談・情報提供についてアセスメントする。                                                                                                                                        | 1) 相談支援センター見学者のまとめ発表の共有から、がん看護に携わる看護師としての役割に関する認識を深める。                                                                  |
| 6. がん患者及び家族に関わる倫理的ジレンマへの対処について考えることができる。                     | 1) 倫理原則の理解に基づき、がん医療の領域における倫理的課題やジレンマについて理解する<br>2) 事例分析などを通し、倫理的ジレンマを認識するとともに、倫理的ジレンマを解決の方向に導くための看護師の役割を理解する                                                                    | 参考図書：ケアの質を高める看護倫理                                                                                                                                     | 看護倫理①②<br>インフォームドコンセント                                                                                                 | 1) 実習で受け持つ患者において倫理的ジレンマが認識された事例について倫理分析を行う                                                                                                                                               | 1) 講義内で倫理的ジレンマに関する解決の方向性や看護師の役割について意見交換を行う。<br>2) 経験、学び、意見交換を元に課題の焦点化、分析、問題解決に向けての看護師の役割について学習を深める。                     |
| 7. がん医療におけるチームアプローチについて理解を深め、指導のもと実践できる                      | 1) チーム医療の実際や看護師の役割を理解する                                                                                                                                                         | 参考図書：チーム医療論                                                                                                                                           | チーム医療①                                                                                                                 | 1) 実習で受け持つ患者のチーム医療における看護師の役割について考える<br>2) 外来化学療法センター、相談支援センター、緩和ケアチームのいずれかを見学し、チーム医療における看護師の役割についてレポート1枚にまとめて提出。<br>3) 見学実習のまとめとして発表し学びを深める。                                             | 1) 講義の中で展開<br>2) 発表により学びを共有し自己の考えを深める。                                                                                  |

# 平成24年度 福岡県がん看護に関わる看護師の育成研修 日程表

|    | 月日            | 1<br>8:45～10:15           | 2<br>10:25～11:55          | 3<br>12:55～14:25                     | 4<br>14:35～16:05        | ねらい                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----|---------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------------------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 6月18日<br>(月)  | 開講式／福岡県がん対策の概要<br>看護部の概要  |                           | 腫瘍学Ⅰ－①<br>(がん医療総論)                   | 実習Ⅰ・見学)OR<br>自己紹介       | 開講式、オリエンテーション                                                                                                                                                                                                                                                |
| 2  | 6月19日<br>(火)  | 実習Ⅰ：病棟OR                  | 実習Ⅰ                       | 実習Ⅰ                                  | アロマセラピー                 | 実習Ⅰ<br>自分のがん看護についての振り返りと<br>課題を発見する<br>①患者とコミュニケーションを図り、がん<br>患者家族の体験を知る<br>②がん患者の抱える問題と看護の実際<br>を把握する<br><br>GWⅠ<br>自分のがん看護についての振り返りと<br>課題の発見<br>『がん患者や家族、医療スタッフから頼<br>られる看護師』について                                                                         |
| 3  | 6月20日<br>(水)  | 実習Ⅰ                       | 実習Ⅰ                       | 実習カンファレンス                            | リンパ浮腫のケア                |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4  | 6月21日<br>(木)  | 実習Ⅰ                       | 実習Ⅰ                       | 実習Ⅰ                                  | 口腔ケア                    |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 5  | 6月22日<br>(金)  | 実習Ⅰ                       | 実習Ⅰ                       | 全体カンファレンス<br>実習Ⅰ：学びについて              | スキンケア                   |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 6  | 6月25日<br>(月)  | GWⅠ/<br>看護師の役割            | GWⅠ/GWⅡに向け<br>てグループ・テーマ決定 | がん看護に活かす<br>サイコロコロニー                 | GWⅠ/GWⅡに向け<br>ての準備(計画等) |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 7  | 6月26日<br>(火)  | がん医療における<br>インフォームド・コンセント | がん看護総論                    | がん看護に活かす<br>看護理論                     | 症状マネジメント①<br>がん性疼痛      | 集中講義<br>がん看護実践を行う上でコアとなる知識<br>を習得する<br>講義時間：8:45～16:05<br>実習時間：8:30～16:00<br>※カリキュラムにより多少変更あり。                                                                                                                                                               |
| 8  | 6月27日<br>(水)  | 緩和ケア①                     | 看護倫理①                     | 看護倫理②                                | 腫瘍学Ⅱ－②<br>がん化学療法        |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 9  | 6月28日<br>(木)  | がん性疼痛看護①                  | がん性疼痛看護②                  | 家族看護①                                | 腫瘍学Ⅱ－③<br>がん放射線治療       |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 10 | 6月29日<br>(金)  | 腫瘍学Ⅰ－②<br>(病態生理)          | 緩和ケア②                     | がん化学療法看護①                            | がん化学療法看護②               |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 11 | 7月 2日<br>(月)  | コミュニケーション<br>基礎           | 家族看護②                     | GWⅡ                                  |                         |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 12 | 7月 3日<br>(火)  | がん患者・家族の<br>相談支援          | チーム医療                     | GWⅡ                                  |                         | GWⅡ<br>自分のがん看護についての振り返りと<br>課題の発見<br>①各テーマにそってグループ討議を行<br>い、自己の振り返りや理論など新たな知<br>識を活用してがん看護を深める<br>②自己の課題に対して、今後の取り組<br>みを明らかにする                                                                                                                              |
| 13 | 7月 4日<br>(水)  | 腫瘍学Ⅱ－①<br>手術療法            | 症状マネジメント②③：がん性疼痛          |                                      | GWⅡ 発表・共有               |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 14 | 7月 5日<br>(木)  | がん手術療法看護                  | がん化学療法看護③                 | 放射線療法看護                              | OR/実習Ⅱについて<br>事例検討について  |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 15 | 7月 6日<br>(金)  | がん患者の栄養管理                 | 乳がん看護                     | 実習Ⅱ                                  | 実習Ⅱ                     |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 16 | 7月 9日<br>(月)  | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                                  | 臨床試験と看護                 |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 17 | 7月10日<br>(火)  | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                                  | 実習Ⅱ(自習時間)               | 実習Ⅱ<br>治療を受ける患者の看護/緩和ケアな<br>どにおけるがん看護実践能力を養う<br>①受け持ち患者は治療を受けている患<br>者もしくはがん性疼痛を抱えている患者<br>を1事例を受け持つ<br>②受け持ち患者の情報収集と整理<br>③看護計画の立案・発表(1事例を中心<br>に評価まで行う)<br>④看護実践と適宜計画の評価・修正<br>⑤受け持ち患者の看護評価や今後の<br>課題について病棟にてCFを実施<br>⑦必要時、心理的援助や患者教育、療<br>養場の移行支援について援助する |
| 18 | 7月11日<br>(水)  | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                                  | 実習Ⅱ：計画発表<br>病棟中間CF      |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 19 | 7月12日<br>(木)  | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                       | 事例検討 →<br>(症状マネジメント：化学療法)            |                         |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 20 | 7月13日<br>(金)  | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                                  | 訪問看護                    |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 21 | 7月17日<br>(火)  | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                                  | 実習Ⅱ(自習時間)               |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 22 | 7月18日<br>(水)  | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ                       | 実習Ⅱ／見学実習<br>(13時～15時) 実習Ⅱ<br>／病棟終了CF |                         | 事例検討<br>模擬事例を用いグループで事例検討を<br>行い、EBNに基づいたアセスメントと看<br>護援助を考える。                                                                                                                                                                                                 |
| 23 | 7月19日<br>(木)  | GW →<br>見学実習のまとめ          | →<br>発表・共有                | まとめ →<br>(実習Ⅱ・研修)                    | →                       |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 24 | 7月20日<br>(金)  | まとめ発表①<br>：受け持ち患者看護       | まとめ発表①<br>：受け持ち患者看護       | まとめ発表②<br>：研修のまとめ                    | 終了式                     |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 25 | 11月30日<br>(金) | 中間発表                      | 中間発表                      | 閉講式                                  |                         | がん看護研修の中間報告・意見交換<br>最終レポート提出：平成25年2月28日                                                                                                                                                                                                                      |

は合同講義

\*講義日程については予定です。診療の都合等により一部変更することがありますのでご了承ください。

平成24年度 福岡県がん看護に関わる看護師育成研修 講義要項

|               |                | 講義科目                 | 講義のねらい                                                                 | 内容                                                       |
|---------------|----------------|----------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 概要            |                | 福岡県がん対策の概要           | 福岡県のがん罹患状況、対策について理解する                                                  | ①福岡県がん対策の概要                                              |
|               |                | 看護部の概要               | がん専門病院の看護部の概要や教育について理解する                                               | ①看護部の概要、<br>②がん看護に関わる看護師の教育                              |
| がんの理解に必要な基礎知識 |                | 腫瘍学Ⅰ－①<br>がん医療総論     | 日本のがん医療政策の動向やがん治療の特徴とアプローチの実践、がんの遺伝子・研究から診断治療や最新の治療について理解を深める          | ①がんの疫学、②がん診療の特徴、<br>③がん医療政策 ④がん診療連携拠点病院の役割               |
|               |                | 腫瘍学Ⅰ－②<br>がんの病態生理    |                                                                        | ①がんの病態、②がんの診断                                            |
|               |                | 腫瘍学Ⅱ－①がん手術療法         |                                                                        | ③がん治療（臨床試験）                                              |
|               |                | 腫瘍学Ⅱ－②<br>がん化学療法     |                                                                        | ①手術療法の現状と動向                                              |
|               |                | 腫瘍学Ⅱ－③<br>がん放射線療法    |                                                                        | ①化学療法の現状と動向                                              |
|               |                | がん患者の栄養管理            | がん患者の栄養管理に必要な知識を理解する                                                   | ①放射線療法の現状と動向<br>②放射線療法の副作用                               |
|               |                |                      |                                                                        | ①がん患者の栄養障害の病態、栄養状態評価の要点<br>②治療や病状の変化に伴う栄養管理の方法           |
| がん看護の基盤となる考え方 |                | がん看護に活かすサイコオンコロジー    | がんが患者や家族の心に及ぼす影響について理解する                                               | ①サイコオンコロジーの概念<br>②がん患者・家族が体験しやすい精神症状                     |
|               |                | コミュニケーション基礎          | 対象者の理解を深め、自らのコミュニケーション技術の向上を図る                                         | ①コミュニケーションの原理<br>②がん患者・家族とのコミュニケーションスキル                  |
|               |                | がん医療におけるインフォームドコンセント | がん医療におけるインフォームドコンセントと看護師の役割を理解する                                       | ①インフォームドコンセントと選択<br>②チーム医療における意思決定支援                     |
|               |                | 看護倫理①②               | がん医療における看護倫理についての理解を深め倫理的ジレンマの解消に向けた対応ができる。                            | ①看護倫理、②がん看護における倫理的課題、ジレンマ<br>③倫理分析モデルと分析の実践              |
| がん看護実践の基本     | がん患者と家族の理解     | がん看護総論               | がん看護の領域と専門性について理解を深めることができる                                            | ①がん看護の動向、発展と課題<br>②がん看護の領域と専門性 ③がんサバイバーシップ               |
|               |                | がん看護に活用できる理論         | がん看護実践に活用することができる看護理論や概念を理解する                                          | ①理論・概念の実践と活用<br>②症状マネジメントモデル ③危機理論                       |
|               |                | がん患者の家族看護①②          | 家族と対象として認識し、家族アセスメントに基づいた援助ができる。                                       | ①家族看護の理解、②がん患者の家族の特徴<br>③家族アセスメントとアプローチの実践               |
|               | がん看護実践の基本概念・方法 | 症状マネジメント①②③          | がん患者の症状マネジメントの重要性を理解し症状のアセスメントに応じた援助ができる。                              | ①症状マネジメントの考え方②がんの病状変化に伴う代表的な身体的症状の病態に基づいたアセスメントおよび援助     |
|               |                | がん性疼痛看護①②            | がん性疼痛の基本的知識とアセスメント、疼痛マネジメントのEBNについて理解する                                | ①がん性疼痛の機序とアセスメント<br>②EBNに基づく疼痛マネジメントの実践                  |
|               |                | チーム医療                | がん医療におけるチーム医療の実践、看護師の役割を理解する。                                          | ①チーム医療の概念 ②チーム医療の実践                                      |
|               |                | がん患者・家族の在宅療養支援       | がん患者・家族の円滑な在宅療養への移行支援と多職種地域連携について理解する                                  | ①がん患者・家族の在宅療養の特性②在宅移行支援のためのアセスメント③多職種連携における看護師の役割        |
|               |                | がん化学療法看護①②③          | 化学療法の基本的知識や副作用に対する適切なアセスメント、看護援助について理解する。化学療法の安全で確実な投与管理について必要な知識を習得する | ①がん化学療法看護の特徴<br>②副作用のアセスメントと対策<br>③セルフケア支援               |
|               |                | がん手術療法看護             | がん患者の受ける手術療法の特殊性を理解し週手術日の看護実践について理解を深める                                | ①がんの手術療法の特性②手術療法ががん患者の心身に及ぼす影響③合併症予防と術後回復促進援助、生活支援       |
|               |                | がん放射線療法看護            | 放射線療法を受ける患者のアセスメント及び看護実践について理解を深める                                     | ①放射線療法とは②放射線治療を受ける患者の看護（副作用予防、セルフケア支援、指導）                |
|               |                | 乳がん看護                | 乳がん患者の治療経過や乳がんとともに生きていく生活について理解を深める                                    | ①乳がん患者の特性と看護<br>②乳がんの治療とセクシュアリティ                         |
|               |                | 緩和ケア①②               | 緩和ケアの理解を深め、緩和ケアの技術を実践することができる                                          | ①緩和ケア・トータルペインの理解<br>②疼痛以外の症状マネジメント<br>③エンド・オブ・ライフケア      |
|               |                | スキンケア                | がん患者に必要な皮膚・排泄ケアの基本的知識を理解できる                                            | ①皮膚の解剖生理と予防的スキンケア<br>②がん患者の皮膚の特徴とスキンケアの実践                |
|               |                | 口腔ケア                 | がん治療における口腔ケアについて理解できる。                                                 | ①がん治療における口腔トラブル<br>②がん治療を支える口腔ケア                         |
|               |                | リンパ浮腫のケア             | リンパ浮腫について理解を深めることができる                                                  | ①リンパ浮腫の病態<br>②リンパ浮腫のケア                                   |
|               |                | アロマセラピー              | 緩和ケアにおけるアロマセラピーについて理解し体験する                                             | ①緩和ケアにおけるアロマセラピーの活用<br>②日常の看護ケアへの取り入れ<br>③アロマセラピーの実践（手技） |
|               |                | 臨床試験と看護              | がん治療における臨床試験の基本的知識を理解し臨床試験を受ける患者看護について理解できる                            | ①がん治療における臨床試験の特徴<br>②臨床試験を受ける患者の看護                       |
|               |                | 訪問看護                 | 訪問看護を理解する                                                              | ①訪問看護制度<br>②訪問看護の実践                                      |